

令和6年度沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)事業について

③ 首里城復興・まちづくり



R6要望額：5.4億円

- 県民の重要な歴史・文化資源である沖縄固有の景観・風景・風土を重視した千年悠久のまちづくりを進め、人々を惹きつける悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成を目指します。
- 首里城の復元はもとより、そこに象徴される歴史・文化の復興を推進するとともに、沖縄の自然を生かし、歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくりに取り組みます。

主な事業

- ① 首里城復興事業（1.9億円→2.1億円）
- ② 沖縄らしい風景づくり支援事業（0.5億円→0.5億円）
- ③ 無電柱化推進事業(要請者負担方式)（0.7億円→2.7億円）

<市町村>沖縄らしい景観、風景を重視した魅力的な景観形成等に関する取組を実施

主な増減理由

- ・ 首里城の復元はもとより、首里城に象徴される琉球の歴史文化の復興に向け首里杜地区等の整備による歴史まちづくりや復元工事に連動した各種イベントを実施
- ・ 自然環境や歴史・伝統文化と調和する沖縄らしい風景づくりを進めるため、人材育成や地域景観の向上に係る取組を推進
- ・ 緊急輸送道路の防災対策や都市景観の向上等の早期効果発現のため、整備路線数を増加



復元工事



首里城正殿



復元工事に連動した各種イベント実施

令和6年度沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)事業について

④ 子どもの貧困・子育て



R6要望額：22.0億円

- 家庭の経済状況等に左右されず、沖縄の未来を担うすべての子どもたちが夢や希望を持って成長することができる、「誰一人取り残さない社会」の実現を目指します。
- 誰もがどこでも安心して子どもを産み、子どもたちは「島の宝」として健やかに成長し、支援を必要とする家庭や若者には十分な支援が行われるなど、すべての県民が安心して子どもを産み育てることができる環境の実現を目指します。

主な事業

- ① 放課後児童クラブ支援強化事業（3.2億円→3.7億円）
- ② 子育て総合支援事業（4.4億円→4.4億円）
- ③ バス通学等支援事業（3.3億円→3.5億円）
- ④ 保育士確保対策強化事業（2.8億円→2.9億円）
- ⑤ ひとり親家庭生活支援事業（1.4億円→1.5億円）

<市町村>保育士の確保や負担軽減、困難を有する子ども・若者や家族等への支援、子育て相談等の人員配置等に関する取組を実施

主な増減理由

- ・ 放課後児童クラブのさらなる量・質の拡充を図り待機児童数の解消を図るため、公的施設活用放課後児童クラブ整備の支援件数を増加
- ・ 将来的な貧困の連鎖の防止を図るための、生活困窮世帯の小中高生に対する学習支援等の実施
- ・ 家庭の経済環境にかかわらない教育環境の整備を図るための、低所得世帯の中高生を対象とした通学に係るバス利用無料化について、制度周知が進んだことによる利用者の増



放課後児童クラブ



子育て総合支援事業（無料塾）



保育士確保



ひとり親家庭支援（就労支援講座）

令和6年度沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)事業について

⑤ 健康長寿・保健医療



R6要望額：1.9億円

- 県民一人ひとりが豊かな人生を過ごせるよう、健やかに暮らすための健康づくりが実践できる環境整備と安心を支える充実した医療提供体制の確保を目指します。
- 年齢や障害の有無等に関わらず、誰もが住み慣れた地域で、生き生きと安心して暮らし、お互いに支え合う地域共生社会の実現を目指します。

主な事業

- ① 離島地域における介護サービス提供体制総合支援事業 (0.5億円→0.5億円)
- ② 生活習慣病予防対策事業 (0.3億円→0.4億円)
- ③ ヘリコプター等輸送体制確保事業 (0.4億円→0.4億円)
- ④ 離島診療所代替看護師支援事業 (0.2億円→0.2億円)

<市町村>健康長寿の復活に向けた健康づくり活動の普及・啓発、離島・へき地医療、救急医療提供体制の確保等に関する取組を実施

主な増減理由

充実した医療提供体制の確保や地域共生社会の実現のためには、次のような各種取組を安定的・計画的に複数年、同規模で実施する必要がある。

- ・ 介護サービス事業の効率的な運営が困難な地域における安心・安定したサービス提供体制の支援
- ・ 県民が主体的に健康づくりに取り組める環境整備を図るための、急患空輸ヘリコプターの添乗医師の確保
- ・ 医療提供体制の維持・確保を図るため、離島診療所における看護師の勤務環境の改善



離島地域における介護サービス提供



生活習慣予防対策



離島診療所代替看護師支援

令和6年度沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)事業について

⑥ 離島振興



R6要望額：65.1億円

- 離島や過疎地域にしながら豊かな生活を享受できる環境づくりを推進し、安全・安心な生活の確保とともに、人々が訪れ、住みたくなる魅力ある生活環境の創出を目指します。
- 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興を推進することにより、各島の特性を生かした持続可能な産業・雇用の創出と地域経済の好循環を目指します。

主な事業

- ① 大東地区情報通信基盤整備推進事業（11.5億円→22.0億円）
- ② 沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業（17.0億円→21.3億円）
- ③ 県立病院医師確保支援事業（8.7億円→8.9億円）
- ④ 離島航空路チャーター運航支援事業（0.6億円→1.1億円）
- ⑤ 離島港湾の利便性向上推進事業（0.5億円→1.0億円）

<市町村>離島航路の交通及び航送コストの負担軽減、専門医療受診の際の渡航費の支援等に関する取組を実施

主な増減理由

- ・ 高度な情報通信技術の利活用環境の形成（ループ化）を図るため、南北大東島を結ぶ海底光ケーブル設備工事に着手
- ・ 離島住民等の割高な航空運賃等の低減を図るための、移動に伴う負担軽減について、アフターコロナにおける交流人口の回復等による。
- ・ 離島住民の交通手段である離島航空路の確保のためチャーター便運航支援を拡充
- ・ 離島航路の持続性を確保するための利便施設（屋根付き荷捌き施設）の整備件数の増



大東地区情報通信基盤整備



離島航空路チャーター運航支援



離島港湾における屋根付き荷捌き施設の整備

令和6年度沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)事業について

⑦ 「稼ぐ力」の強化



R6要望額：19.7億円

- 県民所得の着実な向上により、県民が経済的な豊かさを実感できるよう、様々な産業におけるDXの推進、地域・各種産業等が連携したオープンイノベーションや革新的なビジネスモデルの創出等による経済循環の促進、中小企業等の経営基盤強化等により、企業の「稼ぐ力」の向上を目指します。
- 本県の東アジアの中心に位置する地理的優位性等を生かし、アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点の形成と、臨空・臨港型産業の集積を目指します。
- 先端技術等を活用した空・海・陸のシームレスな交通体系及び情報通信基盤を整備し、東アジアの中心に位置する優位性を生かして国内外との人、モノ、情報等の交流を促進させるとともに、効率的なサプライチェーンの形成や自治体DXの推進を図ることで、経済・産業の持続可能な発展と県民生活の向上を目指します。

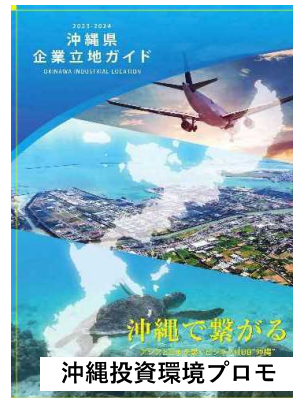
主な事業

- ① 国際航空物流機能強化推進事業 (5.1億→7.1億)
- ② 沖縄県投資環境プロモーション事業 (0.3億→0.5億)
- ③ 沖縄DX促進支援事業 (1.6億→1.9億)
- ④ 海外インバウンド県産品販路拡大推進事業 (0.2億→0.3億)

<市町村>特産品の開発やマーケティング支援、市場のニーズに対応した特産品の販路拡大等に関する取組を実施

主な増減理由

- ・ 国際物流拠点の形成に向け沖縄国際物流ハブの利便性を全国へ周知し活用を促進する取組等を新たに実施するとともに、県内のDX推進を加速させるため企業へのDXの取組に対する補助に関し、補助件数を増加
- ・ 国内・海外企業の沖縄への立地に向け、税制特例制度等、本県の投資環境をPRするために企業誘致セミナーの開催や、各種展示会への出店回数を増加



令和6年度沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)事業について

⑧ 観光関連産業



R6要望額：28.0億円

- SDGs、ICTの進化、感染症等の多様なリスクなど、外部環境の変化に適応するとともに、豊かな自然環境、伝統芸能、空手、泡盛、琉球料理、ホスピタリティ等の国内外の人々が求める沖縄のソフトパワーを生かし、「観光は平和へのパスポート」という考えの下、世界から選ばれる持続可能な観光地の形成を目指します。
- 本県の地域特性やスポーツの持つソフトパワーを最大限活用した持続可能な沖縄の発展に向けて、県民や県外・海外から訪れた人々が共に享受できる、世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成を目指します。

主な事業

- ① 沖縄観光グローバル事業（5.0億→7.8億）
- ② 国内需要安定化事業（2.5億→3.3億）
- ③ 戦略的MICE誘致促進事業（1.6億→2.4億）
- ④ スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業（0.5億→1.0億）

<市町村>地域支援と触れあう体験型観光、スポーツコンベンションの推進等に関する取組を実施

主な増減理由

- ・ コロナ禍で積み上がった観光需要の取り込みを図るため、各種プロモーションや航空会社・旅行会社等と連携した取組を強化すると共に、観光の「量から質」への転換を図るための事例研究等も新たに実施
- ・ ポストコロナを見据えた国内外の新たなMICE需要創出・市場拡大を図り、本県のMICE産業の発展に繋げることを目的として、効果的かつ質の高いプロモーションを新たに実施
- ・ スポーツアイランド沖縄形成のため、各種産業連携による付加価値構築に向けた実証支援を拡充



令和6年度沖縄振興特別推進交付金(ソフト交付金)事業について

⑨ 情報通信・新リーディング産業



R6要望額：11.7億円

- リーディング産業である情報通信関連産業の更なる高度化・高付加価値化を推進し、外貨を稼ぐ産業として振興を図るとともに、デジタル社会の実現を技術面から後押しし、県内における産業DXの牽引役となり、県経済の成長にも貢献する産業へと発展していくことを目指します。
- 科学技術を活用し、産学官金の有機的連携による相乗効果の発揮により、新たな付加価値を創造するイノベーション型の経済成長への転換を図るため、イノベーションの創出と次世代を担う持続可能な産業の振興を目指します。
- 自律的にスタートアップやベンチャー企業等が生まれ成長する、スタートアップ・エコシステムの構築や既存産業と新たなファクターとの有機的連携等による相乗効果の創出及び発揮を通じて、本県の優位性や潜在力を生かし、持続可能な発展につながる新たな産業の創出を目指します。

主な事業

- ① 沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業（3.3億円→3.8億円）
- ② ICTビジネス高度化支援事業（1.7億円→1.7億円）
- ③ バイオ関連産業事業化促進事業（1.4億円→1.6億円）
- ④ スタートアップ・エコシステム構築支援事業（1.1億円→1.3億円）

<市町村>産業集積の促進、企業誘致の取組を実施

主な増減理由

- ・ バイオ関連分野の産業化促進を図るため、製品化・事業化に向けた支援を拡充
- ・ 革新的な技術やビジネスモデルで世界に新しい価値を生み出すため、オープンイノベーションやスタートアップの成長等に向けた支援を拡充



イノベーションエコシステム構築に向けた研究



バイオ関連産業



スタートアップエコシステム構築



スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム